

学校運営協議会（第1回）議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	可知 万千代

開催日時	令和4年7月14日（木） 10:00 ～ 11:30
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	藤田 寿夫(会長) 八尾 康則(委員) 古賀 正広(委員) 山埜 朋一(委員) 石堂 蘭子(委員) 岩出 るり子(委員) [欠席]
出席者(学校)	可知 万千代(校長) 南 佐和則(教頭) 長田 登起夫(教頭) 清水 紀行(事務部長) 相馬 寿子(首席) 木下 達夫(首席) 西島 洋美(首席・高等部主事) 坂野 理恵(中学部主事) 上田 悠司(小学部主事)
傍聴者	なし
協議資料	目次、資料1:学校運営協議会 実施要項、資料2:令和4年度学校経営計画及び学校評価、資料3:令和4年度 学校教育自己診断アンケート 学校要覧 学校教科書採択一覧 学校紹介

協議内容・承認事項（説明・意見の概要）

(1) 学校見学

保健室、小学部、高等部、自立活動室Ⅰ（スパイダー）、自立活動室等、校内を見学。

(2) 校長挨拶

(3) 「学校運営協議会委員」および「事務局」自己紹介

(4) 今年度の会長は藤田寿夫氏、副会長は八尾康則氏に決定。

「学校運営協議会実施要項」「学校協議会傍聴規則」の確認→（案）を消去
傍聴要望なし。意見箱にもご意見なし。

(5) 報告

①「教科用図書選定」について

文科省検定済の『検定本』、文科省著作の『星本』、文科省さらに大阪府が厳選した一般図書『9条本』（学校教育法附則第9条に基づく選定本）から子どもたちの現状をみて教科毎に選定委員が話し合っ決定する手順説明。令和4年度採択本一覧の展示紹介。現在令和5年度分を選定作業中。

(6) 議事

①令和4年度学校経営計画の目標達成に向けての取り組みについて

校長より各項目について説明。

②その他 学校教育自己診断アンケートについて

担当首席より日程、修正箇所、府よりの指示で追加項目等について説明。

《①②について委員からの質問、意見》

- ・学校経営計画のストレスチェックについて、府内の職場平均値との比較のことか。
→本校のストレスチェックの令和3年度の値が平均値を下回っている。これを維持したい。
- ・校内見学して感じたこと。広大な支援学校の中で、情報共有するのは難しい部分があるのでは。
→伝達する要が学年団、学部、分掌など各部署のチーフ。チーフ発信で何をするのかを確認しながら伝達して動いている。
- ・校内見学しながら、今この場で地震が起こったときにどうなるのだろうと、改めて職員間の連携、情報共有の大切さについて痛感した。とっさのときの動きなど、情報共有ができるのか。
→不審者対応、火災地震、大雨の災害等について、医療的ケアを含めてんかんの発作等救急搬送が

必要な子どもへの対応、全てマニュアルがある。さらに教室と保健室に個別の対応表がある。職員朝礼でもインシデントやヒヤリハットを含めた細かい伝達を行っている。

- ・安全安心の人権尊重の中での「不祥事標語の職員室掲示」とはどんなイメージでの取組か。
→職員会議で各教員が人権セルフチェックを継続実施。標語は昨年度に全員の教員が小グループでアイデアを出し合い多数作成。現場からの自律的な発信を大切にしたい。
- ・学校教育自己診断について、教職員 10 番「児童生徒への対応や教材づくりについて、話ができる時間がある。」が 64% (昨年度は 61%)、要因や対策は考えているのか。
→会議精選しても時間が足りない。放課後デイサービスへの送りで最終下校は 15:30 頃。摂食指導、歯磨き、排泄指導等で昼食時に教員の休憩時間がとれないため 15:30-16:15 まで要保障。16:15-17:00 の 45 分で会議等（資質向上のための研修や授業の反省会等）を行う必要がある。教材研究をする時間が確保しにくく、支援学校を含めた教育全体の課題と認識。
- ・同、昨年度の保護者からの回収率 80%をどう見ているか。コロナ禍で保護者の方が来校する機会が減って、実態がつかめなかったということがあるのか。
→QR コードが読みにくい方には記入式、訪問籍の方にも配慮し、いろいろな形で対応する。
- ・同、回収率 80%をあげるための取組は何を考えるか。
→昨年度は保護者あてへの依頼が遅かった、今年度は早めに依頼予定。
- ・同、交流についても、昨年度の DVD のように今年度もどんな形でも機会を作ってほしい。
→本校の児童生徒を知っていただくことが、共生社会を作るひとつと考えている。
- ・同、児童生徒用の 7 番「進学・卒業してからのことを先生は教えてください？」では、7 人中 3 人が「いいえ」「わからない」という回答。日常の会話の中で卒業後のことを踏まえた話があればとの意見が昨年度出っていたので、今年 11 月のアンケートをとるまでに取り組んでいただきたい。
→昨年度は進路指導の話をするより先にアンケートをとったことも要因。進路担当が学部の教員と連携をとりながらキャリア教育を含め進めていく。
- ・支援学校で教室が足りないという新聞記事があったが交野はどうか。
→交野支援学校本校については教室がたりないということはない。
- ・密なバスや密な学校生活の中でコロナ感染が広がらなかったことは、非常にすごい取り組みをされてきたのではないかと。地域の学校などに発信されてもよいのでは。
→今年度、校内での感染拡大は 0 人。学校での感染対策の徹底もあるが、保護者がお子さんを守っていることも要因。外出があまりなくて接触の機会も少ないことも関係あるのかもしれない。放課後等デイサービスの利用者が非常に多く、教頭を核にして密に連絡を取り合っている。
- ・放課後等デイサービスに行く人が多いが、通学バスに乗って帰る児童生徒の割合はどうか。
→サービス利用者が増えたことから少ない。小学部が 1 便で帰った日の 2 便は 0 人のときもある。
- ・HP 掲載の「学校経営計画ダイジェスト版」は非常にわかりやすい。引き続き充実を。
- ・医療的ケアの必要な方が多いなか、看護師配置が 9 名というのが重要だと改めて感じた。福祉事業所でも医療的ケアが必要な利用者さんがいるが、十分こたえられる施設運営ができていない。我々も努力していかないといけないと思う。

(7) 今後の予定

- ・第 2 回は 12/14 (水) に開催できたらと考えている。ご都合が悪ければお知らせいただきたい。
- ・第 3 回については 2 月中旬ごろ実施予定。
- ・第 2 回、第 3 回開催時には本校での実践報告も予定している。

次回の会議日程	
日時	12/14 (水)
会場	大阪府立交野支援学校 校長室